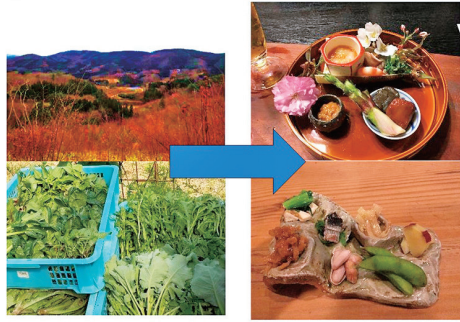


こんなことができます!

作物に「豊かな自然から生産」という付加価値をつける



豊かな自然の中で育った農作物を使っておいしい料理をいただく

夢

福島で豊かな自然の中で育った農作物を評価したい

農学系教育研究組織設置準備室

渡邊 芳倫

WATANABE Yoshinori

講師 博士（農学）

専門分野

環境保全型農業、有機農業、土壌肥料

特許情報、著書、論文

Watanabe Y., Itanna F., Fujioka Y., Ruben S., Iijima M. (2017) Soil fertility status of seasonally closed wetland ecosystem (ondombe) in north-central Namibia. African Journal of Agricultural Research 12(18), 1538-1546.



環境負荷が少なく、かつ持続的な環境保全型農業の在り方を、農地環境の調査によって明らかにしていくことが私の研究課題です。有機農家等の土壌環境と農作業の関係を調査することで、環境保全型農業の体系化を試んでいます。

また、有機農業などで一般的な「無農薬・無化学肥料」という付加価値だけでなく、作物の生育環境を科学的に評価し、「豊かな自然の中で育った」という新しい価値を有機野菜等に付けることを考えています。

想定するパートナー

自治体、農業協同組合、農業団体、農業者

具体的な連携、事業化のイメージ

農地環境評価、土壌肥沃度診断、有機農業技術開発

これまでの取組事例

環境保全型農業の一つである不耕起草生栽培を継続することで土壌環境が変わり肥沃度が上がることが解りました。現在、福島県内の様々な環境保全型や有機の農家を調べることで、適した農地管理や生産環境を研究しています。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興
食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

